



長茶町 池田 裕二

明けましておめでとうござい
す。

皆様にはご家族お揃いのうちに
健康にて新春をお迎えのことと心か
らお慶び申し上げます。

私は昨年10月皆様の温かいご支
援を賜り、引き続き町長の重責を担
うこととなりました。この間皆様から
頂きましたご意見や貴重な経験を教
訓に、これまで育んできた「共に知
恵を出し合い、共に汗を流し、共に
支え合う」、町民が主役、主体の協
働のまちづくりの更なる充実と前進
を図り、誰もが健康で「より安全な、
より便利な、より快適な」暮らしの
実現を最優先に取り組んでまいりま
す。

昨年は、記録的な猛暑、口蹄疫、
そして行方不明の高齢者問題と現実
を象徴する出来事の連続でしたが、
本町では行政施行125年、町制施
行60年の記念の年であり、先人への
感謝の念と未来に向けて決意を新た
にの思いで取り組みました。好天
に恵まれた夏祭り花火大会や産業ま
つりは例年にも増した賑いで、子ど
も達の笑顔と元気な声が溢れ、たく
さんの勇気を貰い、本町の魅力を再

発見できました。

昨年もまちづくりのため多くの
善意を頂きました、心から感謝申
し上げます。その中でも、ソロブ
チミストしべちや様からのご寄付
を元に市街で正午の鐘と午後5時
の音楽吹鳴が11月から始まってい
ます。

いつの日かふるさとを遠く離れ
ても、懐かしく思い出してくれ
ばと願っています。

又、8月末には町内での交通死
亡事故ゼロ、千日という記録を達
成し、現在も更新中であり、
これも単に町民こそぞって日頃から
交通安全に熱心に取り組んでこ
られた素晴らしい成果であり、感謝
申し上げ敬意を表するものであり
ます。これからも1日でも長くこ
の記録を続けて行けるよう取り組
んで参りますので、一層のご理解
とご協力をお願いいたします。

今年も又新しい首相と共に新年
を迎えました。社会経済情勢は依
然として明るさが見通せないま
ま、余りに唐突なTPPの閉国論
議はどこか時代がかっていて、一
体誰のためなのか俄かには見極め
られず、不安と混迷を深めるばか
りですが、どんなに暗くても明け
ない夜はないことを信じて、本年
が町民の皆様にとって平穏で幸多
い年でありませう、心よりご祈
念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭のあいさつ

明けましておめでとうございま
す。皆様には、ご家族おそろいのう
ちにご健康にて新春をお迎えのこと
と拝察し、心からお慶び申し上げま
す。

政権交替から1年以上が経過しま
したが、わが国の経済は若干の改善
がみられるものの、今だに低迷から
抜け出せず、雇用不安をはじめ、様々
な不安が続いております。また、日
本人の文化である人情や絆が希薄と
なつて来ていて高齢者の行方不明問
題や、子どもの虐待等が次々と発生
すると言ふ悲しい社会となつていま
す。

昨年、宮崎県で発生しました口蹄
疫は、酪農を基幹産業とするわが町
にとりましても、大変なことであり
心配しました。

本町は各関係機関の連携のもと、
いち早く対応が構じられてはおりま
したが、被害が他府県に広がること
なく終息したことで安堵いたしました。

農業問題に関しては、中長期的に
取り組むべき政府の方針を定める新
たな「食料・農業・農村基本計画」
が策定され、これまでの農政を本
的に転換し、戸別所得保障制度の導
入、食料自給率50%への向上などの
施策体系が示されましたが、昨
年から問題となつておりますTPPへの
参加となれば、酪農ばかりではなく、
地域経済全体へ甚大な影響を与えか
ねないと思われます。

議会としましては、「TPPへの

参加を断じて行わないよう求める意
見書」を全会一致で採択し、国に伝
えたところです。

さて、議会の役割や機能を十分果
たすためにはどうあるべきかを議論
し、以前からすすめております議会
改革につきまして、その一つである
定数問題では現在の16名から2名減
の14名としました。

今年には統一地方選挙の年であり、
標茶町議会も、改選期を迎えます
が、この選挙から14名の定数とな
ります。

町では現在、第4期総合計画の策
定作業が進められており、議会とし
ても、意見を反映すべく「第4期総
合計画に関する調査特別委員会」を
設けて、議論しております。

将来の本町のあるべき姿をしっか
り描くよう、そしてこれまで同様町
民のみならず安全で安心して暮ら
せるまちづくりをめざして、議員一
同全力を尽くして参ります。

本年が、本町にとりまして実り多
い年でありませう願ひ、あわせて
町民皆様のご健康とご多幸を心から
お祈り申し上げます、ごあいさつと
いたします。



長茶町議会 鈴木 裕美

平成22年度 標茶町各会計予算の概要

(単位：千円)

会 計 別	補正前予算額 (A)	12月補正額 (B)	補正後予算額 (C)=(A)+(B)	
一 般 会 計	10,962,468	310,265	11,272,733	
特 別 会 計	国民健康保険事業 事業 勘 定	1,257,868	1,155	1,259,023
	下 水 道 事 業	715,350	△ 382	714,968
	老 人 保 健	2,020		2,020
	介 護 保 険 事 業	1,252,693	53,439	1,306,132
	後 期 高 齢 者 医 療	95,238		95,238
合 計	14,285,637	364,477	14,650,114	

(△は減額)

《企業会計》

(単位：千円)

病院事業	1,120,208	18,219	1,138,427	歳入
	1,228,393	19,142	1,247,535	歳出
上水道事業	375,806	△ 225	375,581	歳入
	385,042	△ 225	384,817	歳出

(△は減額)

(単位：千円)

区 分	主な補正予算	事業費	内 容
総 務 費	北海道知事・道議選挙費	3,500	
民 生 費	子育て応援チケット	678	
衛 生 費	肺炎球菌ワクチン接種補助金	4,112	
	子宮頸がんワクチン接種補助金	2,568	
	療養給付費負担金	8,690	
	病院事業会計負担金・補助金	107,270	
農 林 水 産 業 費	育成牧場経費	28,290	飼料費、備品購入費
	畜産担い手育成整備事業	3,157	4 地区
	道営草地整備事業 (多和第2地区)	△ 11,500	道営事業負担金
	中山間地域等直接支払交付金事業	5,566	補助金ほか
土 木 費	道路台帳補正委託料	4,670	
	除雪対策	102,782	
	道路補修事業	2,000	
教 育 費	虹別中学校 (屋体) 耐震改修事業	57,000	
	スポーツ振興補助金	437	
職 員 費	職員給与費など	△ 12,315	

(△は減額)

補正予算が可決

第4回定例町議会で、平成22年度各会計の補正予算が可決されました。一般会計の補正予算は、除雪対策、虹別中学校(屋体)耐震改修事業、肺炎球菌ワクチン接種補助金、子宮頸がんワクチン接種補助金などで、3億1千26万5千円を追加し、予算額は112億7千273万3千円となりました。そのほか各会計の補正予算額および一般会計の主な補正内容は次のとおりです。